

稲作情報 No.14

高温・乾燥注意(水稻・大豆)

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

ハナエチゼンは出穂後、高温・少雨が続いています。

大豆は開花期となっており、現在、圃場は非常に乾燥しています。今後の乾燥ストレスは収量減少につながります。

【水稻】

ハナエチゼンの収穫計画を再検討しましょう（出穂期が7/10の場合、成熟期の予測は8/11前後（盆前）の見込み）

コシヒカリにおいては、今後の高温環境に耐えるため、出穂期前の追肥（耐暑肥）を検討しましょう

地域全体での計画的な用水供給に努めましょう。

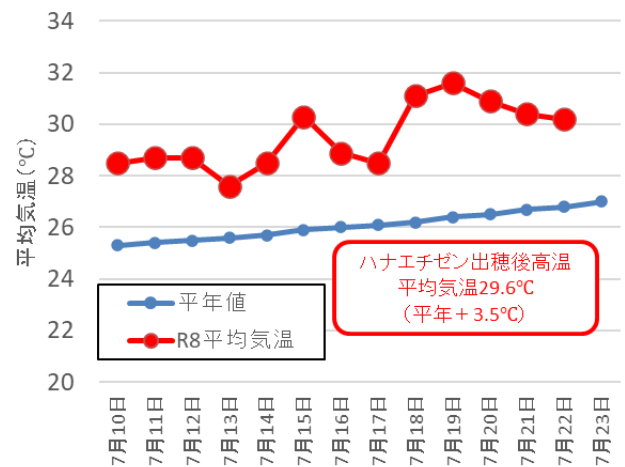
出穂期前後は水を切らさないようにしましょう。こまめな間断通水（入水⇒自然落水の繰り返し）で

飽水状態（水田内の溝や足跡に水が溜まっている状態）をなるべく維持しましょう

【大豆】

畝間灌水を実施しましょう（畝間灌水の留意点は、稲作情報No13参照）

○ハナエチゼンは出穂後、高温で経過



(福井市気象台データ)

7/10 ハナエチゼン出穂期

○大豆圃場の乾燥により、大豆は乾燥ストレスを受けている



栽培管理支援情報サービス(SAKUMO)において
水ストレス指数を算出
(福井市内大豆圃場の例)



いちほまれ 生育ステージ



	農業試験場		現地 平坦地			現地 中山間地	
栽培方法 時期	上旬移植 4/30	中旬移植 5/20	上旬移植 5/4	中旬移植 5/19	直播 5/5	中旬移植 5/21	直播 5/13
地点数	1	1	4	9	7	2	1
幼穂形成期	7/3	7/14	7/3	7/14※	7/17※	7/15	-
幼穂形成期 (平年)	7/7	7/14	7/7	7/15	7/16	7/14	7/20
出穂期	7/24	-	-	-	-	-	-
出穂期 (平年)	7/30	8/4	7/29	8/5	8/6	8/6	8/11

ハナエチゼン・コシヒカリ・あきさかり 生育ステージ

品種		ハナエチゼン			コシヒカリ					あきさかり			
調査場所		農業 試験場	JA坂井 農場	現地	農業 試験場	JA坂井農場		現地		農業 試験場		JA坂井 農場	現地
栽培方法 移植・播種時期		移植 4/30	移植 4/30	移植 4/27	移植 5/20	移植 5/15	直播 5/7	移植 5/15	直播 5/5	移植 4/30	移植 5/20	移植 5/15	移植 5/16
地点数		1	1	8	1	1	1	15	4	1	1	1	3
幼穂 形成 期	本年	6/18	6/19	6/20	7/11	7/7	7/14	7/9	7/11	7/3	7/14	7/12	7/9※
	平年	6/26	6/26	6/27	7/12	7/10	7/15	7/11	7/14	7/9	7/14	7/14	7/12
出穂 期	本年	7/10	7/10	7/11	-	-	-	-	-	7/23	-	-	-
	平年	7/16	7/16	7/17	8/2	8/1	8/6	8/1	8/4	7/31	8/4	8/5	8/2

(留意点) - はデータなし、※は一部データ欠損により数字が変更される場合があります

○早生新品種「はな結び」実証栽培の状況

人と人との心を結び、花開く
ことを願って命名

ハナエチゼンより苗丈が長く、育苗しやすいことを確認しました

ハナエチゼンより出穂期は2～3日遅く、同様に収穫も遅くなる見込みです



はな結び



ハナエチゼン



ハナエチゼン

はな結び

○コシヒカリの出穂期前の追肥（耐暑肥）について

【追肥の目的】

高温によって稲体が消耗し、登熟期に葉色が急激に低下することを防ぎ、収量・品質向上につなげる

【追肥の時期および量の目安】

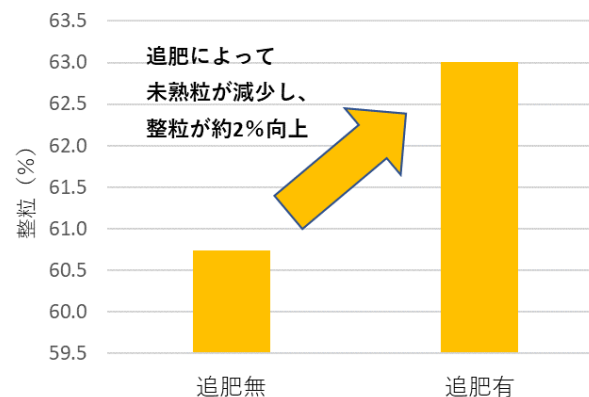
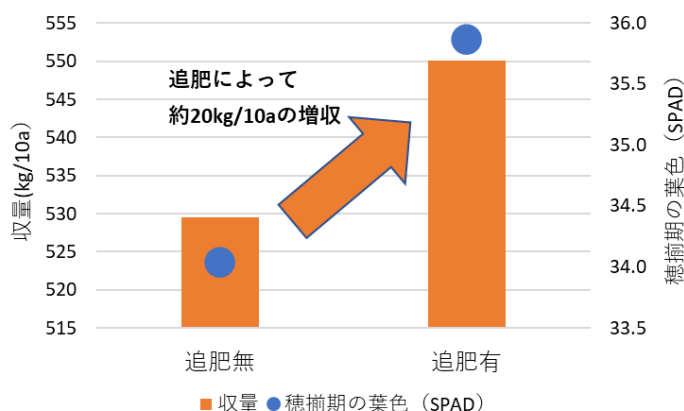
- ・追肥の時期: コシヒカリの出穂期 1 週間前～3 日前
(出穂期が昨年並みの8月1日とした場合、7月25日～29日)
- ・追肥の量の目安: 窒素分で 2 kg/10a程度
(硫安（窒素分約21%）の場合、9.5kg/10a程度)
- ・追肥の方法: 流し込み施肥やドローンでの追肥を推奨



時期の目安としては、圃場内に写真のような走り穂（もしくは走り穂直前の株）を確認したタイミング

【追肥の効果】

- ・令和 6 年に県内 6 地点で実証した結果、窒素分2kg/10aの追肥により葉色が向上し、収量および品質が向上。



流し込み施肥も有効
(詳細は稲作情報No10参照)

【留意点】

- ・毎年、コシヒカリが倒伏するなど、地力の高い圃場では追肥はしない
- ・現時点で、十分に葉色が濃い場合は、追肥はしない
- ・粒状肥料を施肥する場合は、肥料の溶出を促すため、圃場に入水する。

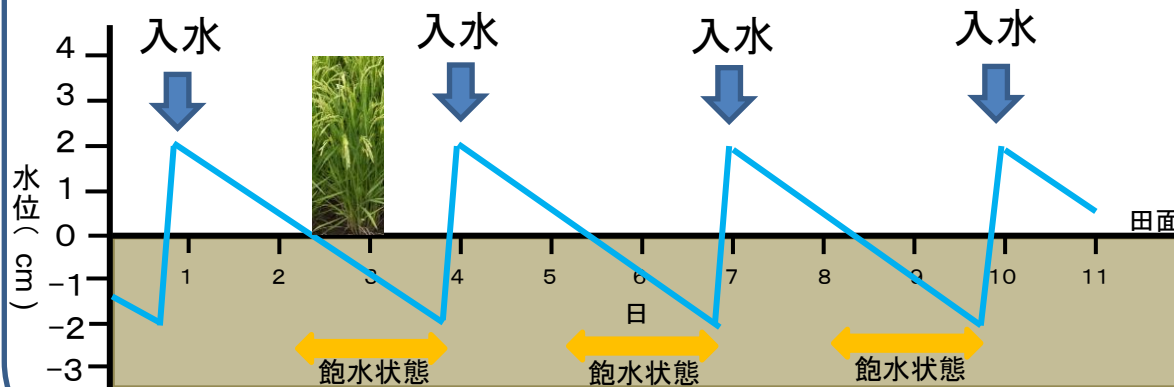
○水稻の今後の水管理について

- ・ 出穂期前後は水を切らさない
- ・ **こまめな間断通水**を実施し、飽水状態をなるべく維持する（水を長期間貯めない、長期間干さない）
- ・ 長期的な降雨や水持ちの良い圃場で、長期間湛水となる場合は、強制落水し、積極的な水の入れ替えを検討する
- ・ フェーンによる高温の際には、深水管理を実施し、フェーンが過ぎたら強制落水し、水を入れ替える

(留意点)

- ・ 地域や集落で用水系統や団地毎に入水時間を申し合わせるなど、地域全体で計画的に用水供給を行う
- ・ 水不足により、輪番制となった場合は、しっかり入水することを優先する。
- ・ 圃場の水の状態は入水口周辺だけでなく、排水口周辺も確認する。

○こまめな間断通水のイメージ



○飽水状態のイメージ

水田内の溝や足跡に水が残る程度まで
水位が減少してから入水する

